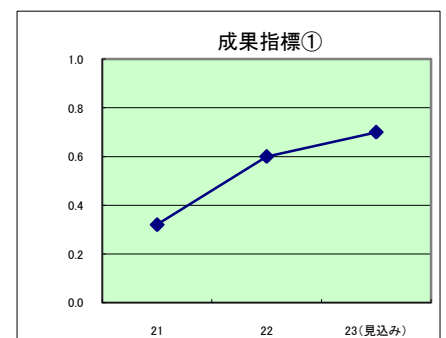
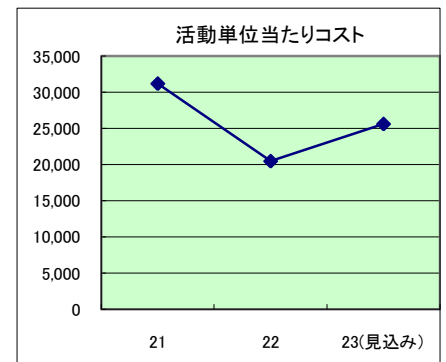


事務事業名	健康優良家庭表彰事業		会計	2	国民健康保険特別会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち	款	8	保健事業費
	施策(節)	1	保健・医療	項	2	保健事業費
	施策の方向	(5)	医療保険制度の充実	目	1	保健衛生普及費
				事業	1	健康家庭表彰費
関連する計画等			作成部署	保健福祉部保険健康室保険年金課		
事業の目的	対象(誰を・何を)		連絡先	072-958-1111 内線 1340		
事業の内容	国民健康保険加入世帯					
	意図(どういう状態にしたいのか)					
	保険給付のない健康な世帯に対し表彰し、健康に対する意識向上を図る。 保険料の滞納がなく、長期間保険給付がない世帯に表彰状と副賞を授与する。					
根拠法令等	羽曳野市国民健康保険被保険者表彰規程					
事業開始時期	☒ 昭和 39 年開始 ☐ 明確にはわからない ☐ 平成 ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている		終了年度	平成	年度	
事業開始時からの状況変化	平成22年度から「健康の秘訣」アンケートを実施し、希望者には職員訪問とする方式を取り入れた。					
市民や議会の要望						
実施手法	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先	☐ 市外郭団体委託 名称()		委託内容			
	☐ 民間委託 ☐ その他					

区 分		21年度	22年度	23年度	
		(実績)	(実績)	(見込み)	
事業費【1】 (千円)		250	560	880	
人件費【2】 (千円)		1,716	1,836	1,836	
職員数	正規職員	0.20 人	0.20 人	0.20 人	
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	臨時職員	0.12 人	0.22 人	0.22 人	
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間	
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		1,966	2,396	2,716	
財源内訳	国費 (千円)				
	府費 (千円)				
	市債 (千円)				
	その他 (手数料・使用料等) (千円)				
	一般財源 (千円)	1,966	2,396	2,716	
活動指標(事業の活動実績)【B】		単位	21年度	22年度	23年度(見込み)
① 表彰家庭数		世帯	63	117	106
②					
③					
活動単位当たりコスト(【A】／【B】①)		31,206 円	20,479 円	25,623 円	
市民1人当たりコスト(【A】／人口)		17 円	20 円	23 円	



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名	単位	指標設定の考え方	平成21年度		平成22年度		平成23年度
	① 加入世帯数に対する表彰家庭数割合 (式) 表彰世帯数÷全世帯数×100	%	全世帯に対する表彰家庭の割合を見る。	目標	0.70	0.70	達成率(%)	0.70
				実績	0.32	0.60	85.7%	
	② (式)			目標			達成率(%)	
				実績				

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	保険給付のない加入世帯（者）に表彰することにより、保険制度を一部補充する。

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	健康な加入世帯（者）を表彰することにより、国民健康保険制度への理解を深める。
		市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐	
		社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
		事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
		緊急性が認められる	☐	☒	☐	
	効率性	単位コストが適切である（経年、他市比較など）	☒	☐	☐	健康意欲の増進に繋がっている。また、事務処理については、最小限の人員で行っている。
		受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		簡略化できる方法や手段がない	☒	☐	☐	
		市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		民間活力（民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど）の活用について検討の余地がない	☒	☐	☐	
	有効性	上位の施策（目的）が明確である	☒	☐	☐	保険料の未納がないことも条件の一つとしており、納付に対する有効性もある。
		上位の施策（目的）への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐	
		成果を向上させる余地がない	☒	☐	☐	
		市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐	
	協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☐	☐	☒	
		事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☐	☐	☒	
		事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☐	☐	☒	
		事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☐	☐	☒	
	達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	健康に対する意識向上のための目標値である。今後、国保全世帯に対する表彰家庭の割合をさらに高めることが重要である。
		成果指標の実績値は目標値以上である	☐	☒	☐	
		成果指標は前年度より向上している	☐	☒	☐	

担当部局評価	総合評価	
	☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	健康である健康意識の高い被保険者、世帯を表彰することにより、健康保険制度への理解を補完することができる。今後も、健康家庭表彰対象世帯を増やし、健康づくりに資する事業として充実されることが重要である。 平成22年度からは「健康の秘訣」アンケートを実施し、希望者には職員訪問とする方式を取り入れた。 今後に向けて（取組方針、具体的な改善改革案など）	
	健康保険制度への理解・周知のため、表彰取り組みの効果は高く、今後も継続していくとともに、健康づくりに資する事業として充実を図る。	
行革本部評価	総合評価	評価理由・意見
	☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	